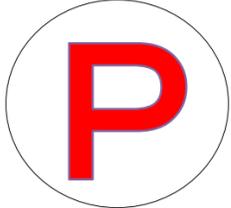


# 令和3年度PDCAサイクル(呼吸ケアサポートチーム【RST】)



P



**I. RSTチームの目的**

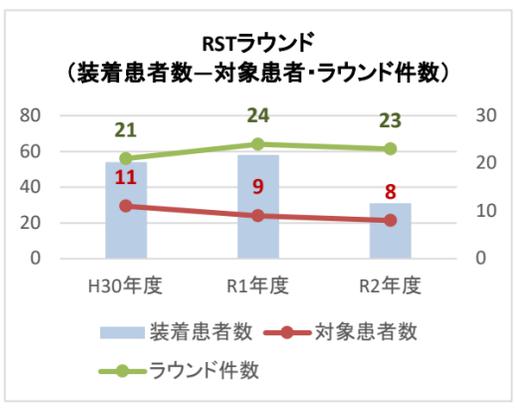
1. 一般病棟において人工呼吸器管理を行っている呼吸不全患者に対し、人工呼吸器の使用上のケア・呼吸リハビリテーションを含む事柄についてアドバイス及びサポートを行う。
2. 人工呼吸器の早期離脱を目指し、医療の質の向上を図る。

**II. 対象患者**  
人工呼吸器装着が48時間以上でその期間が1カ月以内の呼吸ケアチーム加算取得可能な一般病棟に入院している患者 (ICU・CCU・HCU・小児科病棟を除く)

**III. 問題点**  
新病院移転に伴い一般病棟における人工呼吸器使用患者 (RSTチーム介入患者) は、重症・集中部門増床により明らかに減少することが考えられる。そのため、重症・集中部門から退室後の人工呼吸器離脱困難な患者 (DNAR対象含む) の増加が考えられる。また、一般病棟にV60などの非侵襲的陽圧換気使用中の患者が入院しており患者の重症度は高くなっている。

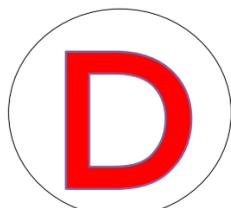
**IV. 行動計画**

- ①RSTラウンド実施率100% (加算対象者) と離脱率
- ②HCUへのラウンド実施率 (早期からサポートの開始)
- ③V60など非侵襲的陽圧換気使用中患者へのラウンドの実施



**RSTラウンド**  
(装着患者数-対象患者-ラウンド件数)

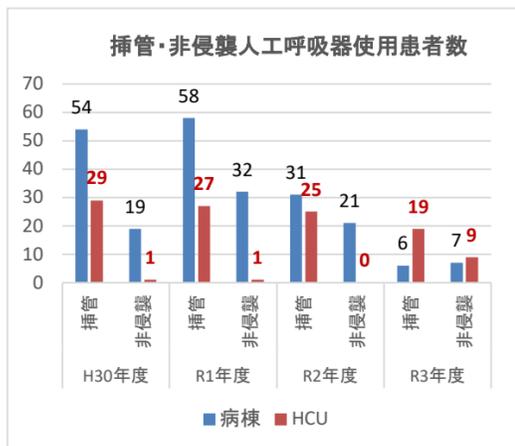
年度	装着患者数	対象患者数	ラウンド件数
H30年度	11	11	21
R1年度	9	9	24
R2年度	8	8	23



D

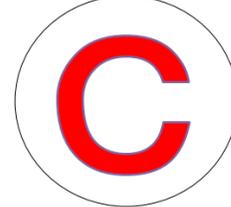


- ①RSTのラウンド実施率100% (加算対象者) と離脱率
  - 人工呼吸器装着中の患者に対し早期離脱に向け、週1回ラウンドを確実に実施する。長期化する場合は、主治医や病棟看護師と連携を図りながらラウンドを継続する。
- ②HCUへのラウンド実施率 (早期からサポートの開始)
  - 人工呼吸器離脱に向けての指導&フォロー  
→呼吸器内科受診していただき連日フォローできる体制の構築
  - 早期からのリハビリの開始 (関節可動域訓練・呼吸筋疲労の予防・早期離床の目的)  
→早期リハ導入の推進と人工呼吸器関連肺炎の予防
- ③V60など非侵襲的陽圧換気使用中患者へのラウンドの実施
  - 非侵襲的陽圧換気実施中患者をラウンドすることで、早期から医療の安全を目指した指導・看護に努める。重症化することなく非侵襲的陽圧換気からの離脱を目標とする。



**挿管・非侵襲人工呼吸器使用患者数**

年度	病棟	HCU
H30年度	挿管	29
	非侵襲	19
R1年度	挿管	27
	非侵襲	1
R2年度	挿管	25
	非侵襲	0
R3年度	挿管	19
	非侵襲	7



C

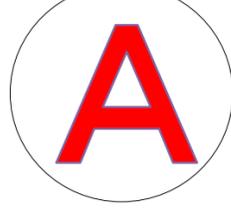


- ①RSTラウンド実施率100% (加算対象者) と離脱率
  - 毎週1回水曜日 (16時から) 院内ラウンドを対象患者においては呼吸器内科医の協力を得ながら100%実施出来たことから呼吸器離脱の促進と装着期間の短縮を図れた。
- ②HCUへのラウンド実施率 (早期からサポートの開始)
  - 人工呼吸器離脱に向けてラウンド時の呼吸器内科による指導&フォローと早期からのリハビリの開始は出来ているが、呼吸器導入のタイミングによりラウンド実施出来ないことがあった。
- ③V60など非侵襲的陽圧換気使用中患者へのラウンドの実施
  - V60装着患者2名にラウンドを行った。病棟使用が減少しHCUでの管理が増加する傾向にある。1名は重症化することなく非侵襲的陽圧換気からの離脱、もう1名は抜管後V60で管理でき再挿管することなく離脱できた。

令和3年度 RSTラウンド内訳 (令和3年4月~12月)		
	加算対象患者数	全ラウンド患者数
対象患者数	5名	12名
離脱患者数	5名	10名
人工呼吸器離脱率	100%	83.3%
2週間以内離脱率	60.0%	41.7%
ラウンド数	6回	29回
平均装着日数	14.0日	19.7日

HCUへのラウンド (令和3年4月~12月)	
人工呼吸器装着患者数	28名
ラウンド実施患者数	8名
ラウンド実施率	28.6%



A



- ①人工呼吸器装着中のラウンド実施率100%
  - 現在、大きな事案は起きていない。新病院になり一般病棟での人工呼吸器使用は減少すると思われるが引き続き人工呼吸器装着中患者の安全性の確保とトラブル防止、早期離脱を目標にラウンドを実施する。
- ②HCUへのラウンド実施 (早期からサポートの開始)
  - HCUでの挿管・非侵襲陽圧換気の使用は増加傾向にあり呼吸器内科、リハビリ科への受診促進に努める。また、長期使用患者に対し早期リハビリ開始に向けて搬送可能な人工呼吸器への変更も検討。
- ③V60など非侵襲的陽圧換気使用中患者へのラウンドの実施
  - 呼吸状態の重症化や再装着を予防する目的で早期から安全を目指した指導・看護を継続する。